

社会福祉学科 2年 後期 総合科目

1. 臨床美術の実践Ⅱ
2. データサイエンス入門
3. コミュニケーション論

社会福祉学科

社会福祉 専攻

科目名： 臨床美術の実践Ⅱ				担当教員 氏名： 岡野 宏宣		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	後期	専門科目	演習	選択	臨床美術士4級
実務経験を用いてどのよう な授業を行っているか： 臨床美術士養成講座講師の資格を持ち、臨床美術士として福祉施設での臨床美術の実践経験を生かし、造形素材の理解やアートプログラムの実践力の向上、福祉施設でのアート活動の実施に向けて授業を行っている。						
授業科目の学習教育目標の概要：						キーワード
臨床美術士として、アートプログラム制作を通して造形的な技術・技法を習得すると共に、それを用いて主体的にロールプレイングや現場実習などアクティブ・ラーニングすることによって福祉施設などでアート活動を行うための実践力を身に付ける。						・臨床美術 ・右脳の活性化 ・認知症 ・コミュニケーション
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 3. 5. 6. 7. 8.	
A 知識・理解力			右脳の活性化と認知症について理解することができる。			
B 専門的技術			状況や関係を把握して様々な素材の使用法や表現技法を習得する。			
D 問題解決力			「ひと・こと・もの」に働きかけ、豊かに表現活動の場を設定するために、情報を収集・分析・整理し、目的に応じた活動案が作成できる。			
F チームワーク・リーダーシップ			リーダー・サブリーダーなどの役割を理解しチームに参画することができる。			
H コミュニケーション力			造形を通して具体的に他者を理解しコミュニケーションをすることを通して、他者に共感でき、相手の立場に立って考える事ができる姿勢を身につける。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 0 %		レポート： 30 %		発表： 30 %		実技試験： 30 %
その他： 10 %						
特記事項： ・臨床美術士4級養成講座は2024年4月に講座内容の改訂を予定しています。それに伴い、臨床美術の実践Ⅰのシラバス内容が一部変更される可能性があります。 ・事前課題作品は100%の提出とする。欠席した場合、授業内で制作した作品及び講義内容に関する課題を課す。 ・成績評価のレポートは事前課題の提出。発表は授業内での発言。実技試験はロールプレイング、現場実習の理解と実践力。その他は積極性を指す。 ・本科目ではアクティブ・ラーニングの一環として学生が自ら課題意識を持ち、対象者に対して臨床美術セッションを行い、実践力を身に付け、事前の準備を含めた企画、実施、記録を行います。 毎回の準備物：脳いきいきボックス、新聞紙(朝刊1日分)、スティック糊、割り箸ペン、クロッキー帳、ウェットティッシュ、鉛筆2Bか4B						
アクティブラーニング要素：						
課題解決型学習		ディスカッション、ディベート		グループワーク		プレゼンテーション
実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：						
使用テキスト：『臨床美術士養成講座4級』, 芸術造形研究所 『臨床美術 認知症医療と芸術のコラボレーション』, 芸術造形研究所					その他参考文献など：	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：※本科目は「臨床美術」「臨床美術の実践Ⅰ」の単位取得者のみ受講できます。 本科目は日程が不規則になっています。授業日時をよく確認してください。 ※本科目は事前課題が多い科目です。課題の提出日を常に確認してください。提出日直前に事前学習では対応できませんので、毎回計画的に進めるようにしてください。(事前・事後学習課題の欄には提出日のみ記載してあります) 諸事情により実習の予定を変更せざるを得ない場合があります。						
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)
						学習内容
						学習に必要な 時間(分)
回数						
1	アートプログラム実践演習「現場実習に向けて試作」①			9月19日		
2	アートプログラム実践演習「現場実習に向けて試作」②			9月19日		出題：「振り返り現場実習に向けての試作」60分
3	アートプログラム実践演習「フリー実習振り返り」			10月10日		提出：「自然色からの色彩練習」 「フリー実習報告書」
4	臨床美術コミュニケーションⅡ「鑑賞会」			10月10日		出題：「ロールプレイングのシュミレーション」120分
5	アートプログラム実践演習「ロールプレイング」①			10月24日		

※前ページよりつづき

社会福祉学科

社会福祉 専攻

科目名： 臨床美術の実践Ⅱ		担当教員 氏名： 岡野 宏宣		
授 業 計 画		準備学習(予習・復習等)		
		学習内容	学習に必要な時間(分)	
6	アートプログラム実践演習「ロールプレイング」②	10月24日	出題:ロールプレイングの振り返り	60分
7	アートプログラム実践演習「ロールプレイング」③ 現場実習 準備	10月31日	出題:現場実習のシミュレーション 提出:「さまざまな技法を試す」 「さまざまな紙の描き心地を試す」	120分
8	現場実習	12月5日		
9	現場実習	12月5日		
10	現場実習	12月5日	出題:実習現場記録表	120分
11	アートプログラム実践演習「実習の振り返り」	12月12日	提出:レポート	
12	臨床美術基幹Ⅱ「臨床美術プレゼンテーション」「臨床美術士の資質」「オンラインセッションについて」	12月19日	出題:「臨床美術基幹Ⅱ」振り返り	60分
13	アートプログラム実践演習「いろいろな線と色で遊ぼう」ロールプレイング	1月9日		
14	アートプログラム実践演習「いろいろな線と色で遊ぼう」ロールプレイング、	1月9日		
15	アートプログラム実践演習「いろいろな線と色で遊ぼう」ロールプレイング、「認定後の活動」「総括」	1月16日	臨床美術協会認定申請書 (課題をすべて提出してある学生) 準備物:臨床美術ハンドブック	
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

社会福祉学科

科目名： データサイエンス入門				担当教員 氏名： 一ノ瀬 伊通子		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	後期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：						
授業科目の学修教育目標の概要：						キーワード
今後のデジタル社会において、数理・データサイエンスIを日常生活、仕事の場で使いこなすことができる基礎的素養を身に着けること。						統計基礎、データサイエンス、データの比較、データの集計、個人情報保護、情報漏洩
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			・ データを読み解く力、説明する力、データを扱うための力を養う。			
C 論理的思考力			・ 情報作成能力を身に付け、活用能力を高める。			
D 問題解決力			・ データを利活用する際の留意事項に関する知識習得。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト：	%	レポート： 50 %	発表： 20 %	実技試験：	%	その他： 30 %
特記事項： ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。 ・ 授業外の予習・復習が不可欠であり、アクティブ・ラーニングとして、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。						
アクティブラーニング要素：						
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：授業中の後半に毎回課題演習を行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
① ガイダンス：数理・データサイエンスを学ぶ事の意義				ビッグデータを活用したビジネス/サービス		【予習】30分 【復習】30分
② 統計学の基礎知識(サンプリングと母集団)の理解				統計基礎の知識・スキル		【予習】30分 【復習】30分
③ 統計学の基礎知識(正規分布)の理解				統計基礎の知識・スキル		【予習】30分 【復習】30分
④ Excelによるデータ編集(入力、演算)の習得				Excelを活用したデータの処理		【予習】30分 【復習】30分
⑤ Excelによるデータ編集(関数)の習得				Excel関数の活用		【予習】30分 【復習】30分
⑥ Excelによるデータ分析(グラフ)の習得				Excelによるデータのグラフ化		【予習】30分 【復習】30分
⑦ Excelを活用した将来予測の習得				分析ツールの利用		【予習】30分 【復習】30分
⑧ Excelを活用した適正価格の推定の習得				分析ツールの利用		【予習】30分 【復習】30分
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						
使用テキスト： <電子書籍(ManaMo)>「イチからしっかり学ぶ！ Office基礎と情報モラル Office2016対応」(noa出版)、適宜資料を配付				その他参考文献など： <電子書籍(ManaMo)>これだけは知っておこう！ 情報リテラシー (noa出版)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 1年前期に開講したデジタル文書入門と同じテキストを使用するので、 デジタル文書入門を履修した者はあらためてテキストを購入する必要はない						

社会福祉学科

科目名： コミュニケーション論			担当教員 氏名： 経田 博子			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	後期	総合科目	演習	選択	交流分析士2級受験資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか： 交流分析士・TAカウンセラー・産業カウンセラーとしての経験を生かして、自分の思考・感情・行動の癖に気づき、コミュニケーション時の選択肢を増やすこと等について教授する						
授業科目の学修教育目標の概要：						キーワード
コミュニケーション心理学ともいわれる交流分析を学ぶ。人の心の在り様と、思考・感情・行動について分析し、活用方法を学修と演習から学ぶ。また、自分と他者のコミュニケーションパターンを理解し、交流の改善方法について学ぶ。						交流分析・交流パターン・ストローク・傾聴 ・人生の立場・心理ゲーム・時間の構造化 ・人生脚本
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			交流分析の理論を理解し、ワークなどから自己理解を深める			
D 問題解決力			問題に気づき、いろいろな対処方法から「今ここで」必要な対応を理解する			
E 自己管理能力			自分の思考・感情・行動のパターンを理解し、自分の選択に責任を持つ			
F チームワーク・リーダーシップ			ワークショップ・グループワークを通じて、協調性や自分の役割を理解する			
H コミュニケーション力			交流分析の哲学を意識して、より良い人間関係を築く能力を養う			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 80 %	レポート： 20 %	発表： %	実技試験： %	その他： %		
特記事項： ・上記「その他」においては、授業中の態度、授業中の課題提出・TAシートの書き込み状況などで評価する ・本科目ではアクティブ・ラーニングの一環としてグループワーク、発表を行う						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：適宜小テストを行う。授業内で、グループワークの準備やまとめとしてのレポート提出を行う。最終試験は、別に定めた日時に実施する						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：適宜小テスト、レポート課題を行い、採点し個人のは返却する。グループとしてのレポート提出においては、返却はしない。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①コミュニケーションとは 自己紹介 自我状態 ストローク				【予習】自我状態・ストロークを読む	60分	
②ストロークの活用 価値を認める 人生の立場				【予習】人生の立場を読む	予習30分	復習30分
③いろいろな見方 人生の立場 自分の事例・グループワーク				【予習】TAシートP29記入	予習60分	復習30分
④OK・OKの思考・感情・行動 人生の立場 ディスカウント 小テスト				【予習】人生の立場を読む	予習30分	復習30分
⑤心理ゲームとは ゲームの公式				【予習】心理ゲームを読む	予習30分	復習30分
⑥自分がついついしてしまうこと ゲームの図式 代表的なゲーム				【予習・復習】心理ゲームを読む	予習30分	復習30分
⑦嫌な感情の減らし方 ゲームをやめるには・グループワーク 小テスト				【予習】TAシートP35記入	予習60分	復習30分
⑧ラケット感情 ストレスと感情 グループワーク				【予習】心理ゲーム・ラケット感情を読む	予習30分	復習30分
⑨時間の構造化				【予習】時間の構造化を読む	予習30分	復習30分
⑩充実した時間の過ごし方 時間の構造化 小テスト				【予習】TAシートP37記入	予習30分	復習30分
⑪自分の物語 人生脚本とは 幼いころに決めたこと				【予習】人生脚本とはを読む	予習30分	復習30分
⑫自分の中にある禁止令 小テスト				【予習】禁止令を読む	予習30分	復習30分
⑬拮抗禁止令とドライバー プログラム				【予習】ドライバーまでを読む	予習30分	復習30分
⑭ミニスクリプト 自分を止めるもの 許しを与える				【予習】ミニスクリプトまで読む	予習30分	復習30分
⑮自立に向けて 自分がなりたいたい自分				【予習】TAシートP45記入	予習30分	復習30分
使用テキスト： 日本交流分析協会発行 交流分析士2級テキスト・シート・エゴグラム 使用 (前期の人間関係論と同じテキスト)				その他参考文献など： 交流分析入門(チーム医療)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：自分や自分の周りの人とより良い関わりができるように、自分を成長させていく貴重な時間です。テキストの理解と共にTAシートの記入など、自身を見直す時間を丁寧になさってください。 前期の「人間関係論」と後期の「コミュニケーション論」の両方で40時間以上受講した人には、2月ごろ実施のNPO法人日本交流分析協会認定「2級交流分析士」(登録商標)の受験資格が与えられます。						